

2025 年 12 月 11 日
 豪州経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 渋谷 和樹

日米欧 Market View:25 年 12 月豪州概況

インフレ率上振れを受け、市場は 26 年の豪中銀利上げ転換を織り込みへ

要約

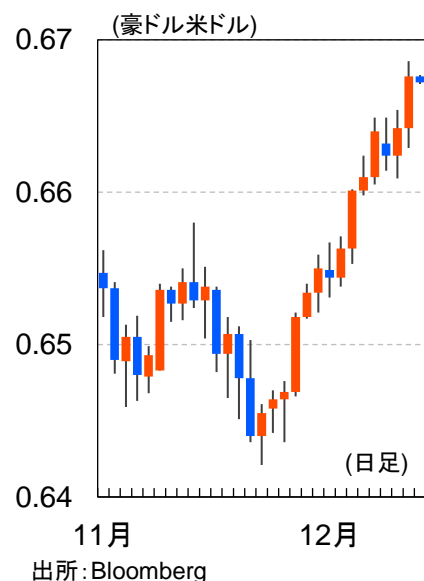
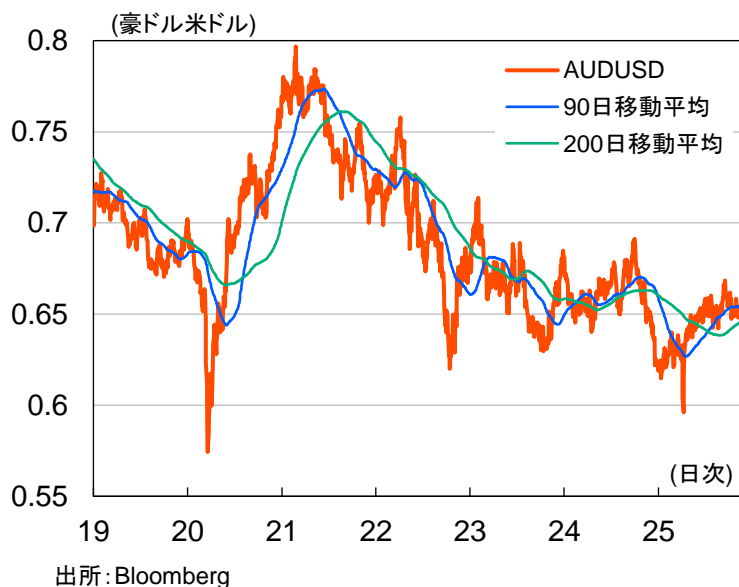
- 11 月の豪ドルは対ドルで横ばい、対円では上昇した。
- 対ドルでは 26 年央にかけてやや豪ドル高が進行しやすいとみる。インフレ率の上振れを受けた豪中銀のタカ派姿勢が豪ドルの支援材料となろう。
- 対円では高市政権の財政拡張的な政策に対する期待感から短期的には円が売られやすい。ただし、現実的な政策対応を取るにつれ過度な懸念は後退し、一方向な円安進行は想定していない。

【為替】

豪ドルは対ドルで横ばい、対円では上昇

11 月の豪ドルは対ドルでは前月末比概ね横ばい、対円では上昇した(図表 1,2)。上旬から中旬にかけては、株式市場が米ハイテク株を中心にややリスク回避的となったこともあり弱含んで推移したが、26 日の豪 CPI が上振れたことや NZ 中銀会合で声明文から今後の追加利下げを示唆する文面が削除されたことなどを受けて上昇に転じた。対円は、10 月に発足した高市政権が相応の規模の補正予算案を発表したことで財政懸念が想起され、円安が進行しやすかった。

【図表 1: 豪ドル米ドルの推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 カ月)】

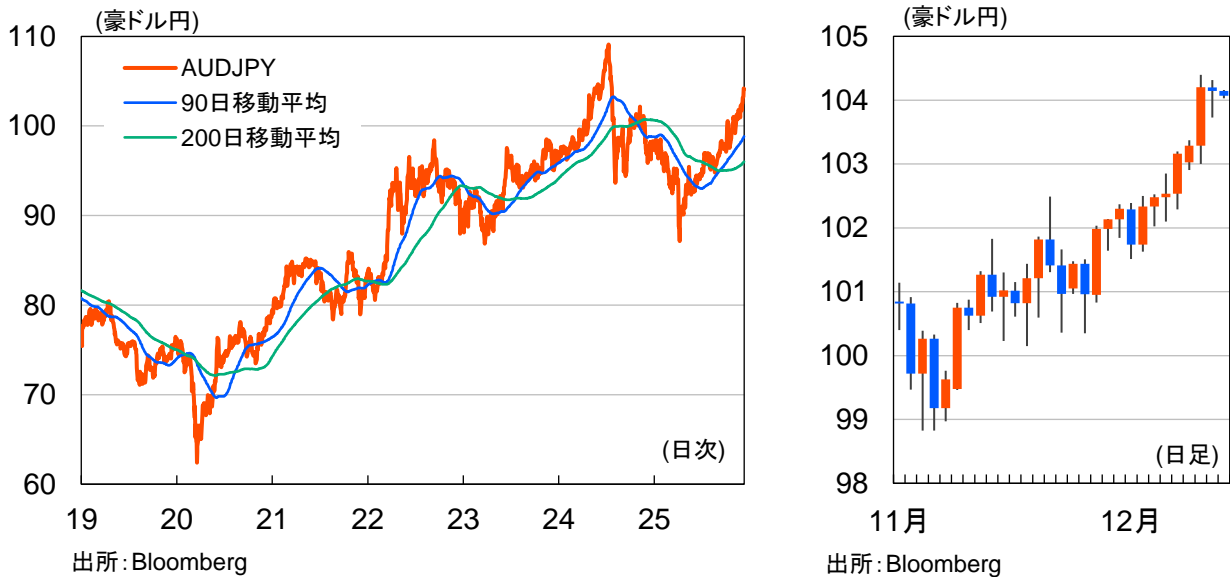


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

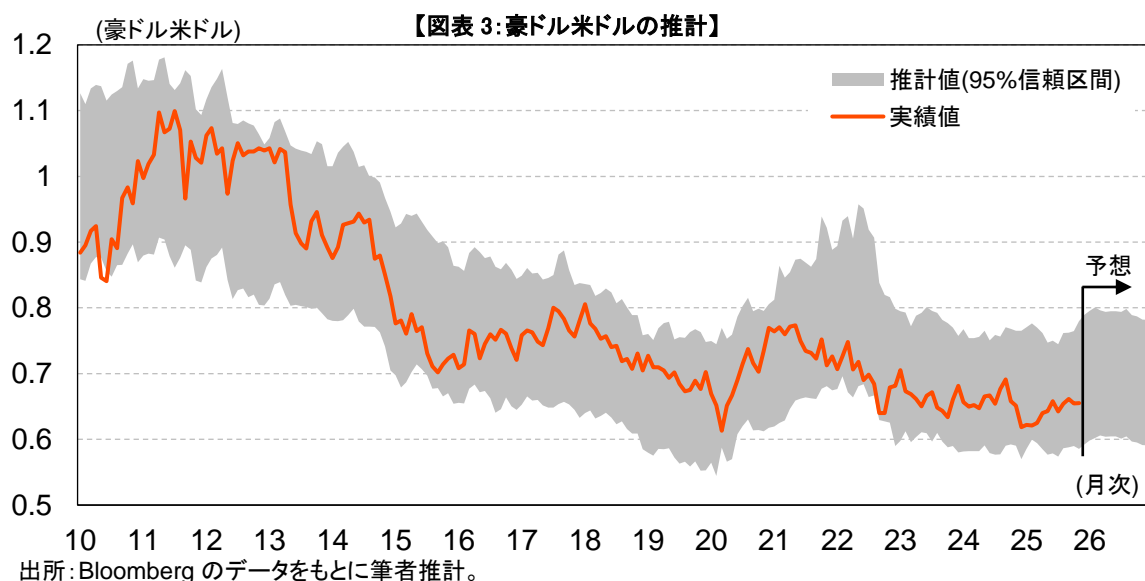
【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】



豪中銀のタカ派姿勢維持が豪ドルの支援材料に

12 月以降の豪ドルは、対米ドルでは 26 年央にかけてやや豪ドル高が進行しやすいとみている(図表 3,4)。今月は、インフレ率の上昇を受けて市場が豪中銀の利上げを織り込み始めたことから、豪ドルは対ドル対円ともに強含んで推移している。12 月 FOMC 会合において FRB が利下げを決定した一方、来年にかけては豪中銀がインフレに対する警戒感からタカ派姿勢を維持するとの見方が台頭したことで、両中銀における金融政策の方向感の違いが意識され、豪ドルの支援材料となりそうだ。

対円は、高市政権の財政拡張的な政策に対する期待感が高まっていることから、短期的には円を買いづらい展開が続くそう。ただし、現実的な政策対応を取るにつれ拡張財政に対する過度な懸念が後退するほか、今月にも日銀が利上げを決定するとの見方が高まっている。利上げ決定後の日銀のスタンス次第な面もあるが、来年にかけて一方向に円安が進行する展開は現在のところ想定していない。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		10-12 月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.62-0.70	0.62-0.70	0.64-0.72	0.64-0.72	0.64-0.72
	期末値	0.66	0.66	0.68	0.68	0.68
豪ドル 円	レンジ	93-105	93-105	96-108	96-108	96-108
	期末値	99	99	102	102	102

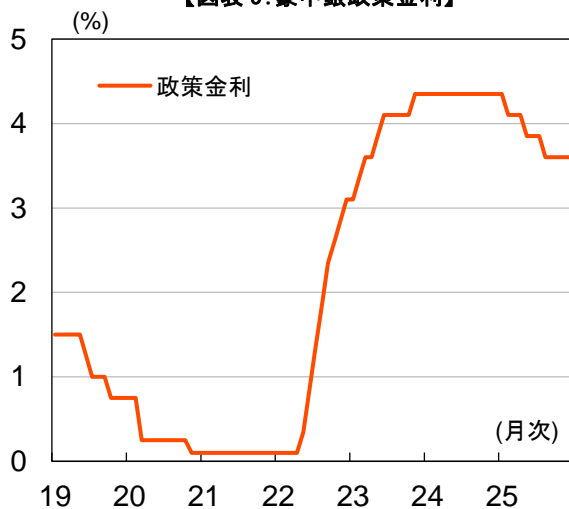
出所: りそなホールディングス

【金融政策】

12 月会合では政策金利の据え置きを決定

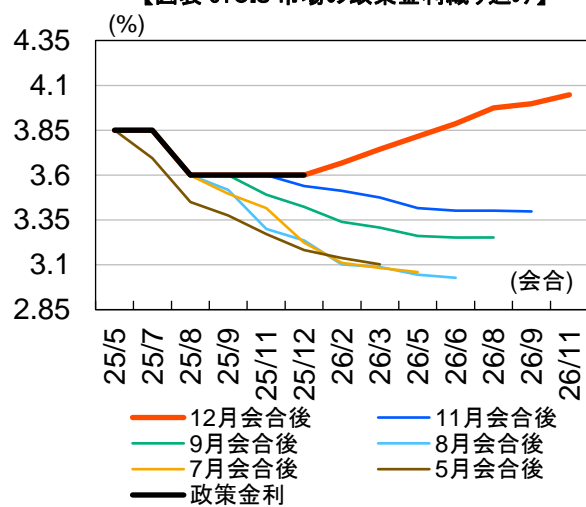
豪中銀は 12 月 9 日の政策決定会合で、政策金利を 3.60% と、市場予想通り政策金利を据え置いた(図表 5)。声明では「基調的インフレ率の上昇の一部は一時的な要因によるもの」としながらも、「データからはより広範なインフレ率上昇の兆候がみられ、一部は持続的な可能性がある」とインフレに関して上方リスクが高まりつつあるとの認識を示した。市場では、先月末の CPI 上振れや今会合の内容を受けて、金利先物市場では 26 年に豪中銀の利上げ転換を織り込み始めた(図表 6)。筆者は、市場の利上げ織り込みは性急とみるが、足元のインフレ率上振れを勘案して豪中銀は当面の間政策金利を据え置いて様子見姿勢をとる、との予想に修正する。

【図表 5: 豪中銀政策金利】



出所: Bloomberg

【図表 6: OIS 市場の政策金利織り込み】



出所: Bloomberg

【景気】

物価・消費: 物価の基調は目標レンジを上振れ

11 月 26 日に公表された 10 月 CPI 総合指数は前年比 3.8%、豪中銀が基調的なインフレ指標として重視するトリム平均値は前年比 3.3% だった(図表 7)。総合指数、トリム平均値ともに物価目標のレンジ(2~3%)の範囲から上振れており、前年に実施された電気代補助金の効果が剥落した影響が大きい。ただし、賃料など住宅関

◎注意事項

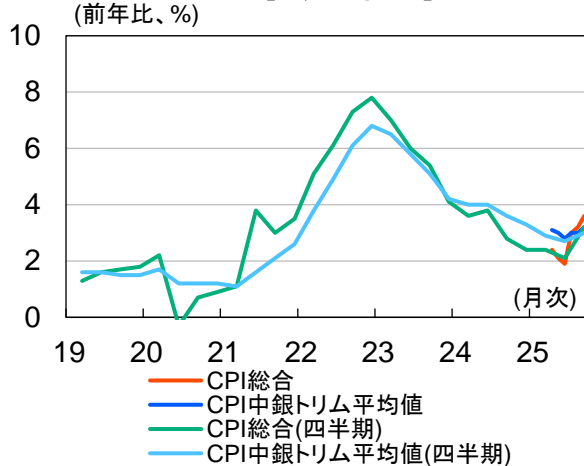
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

連やその他サービス関連についても総じてインフレ率が上昇しており、基調的な物価にも再度上昇圧力がかかってきている可能性がある。

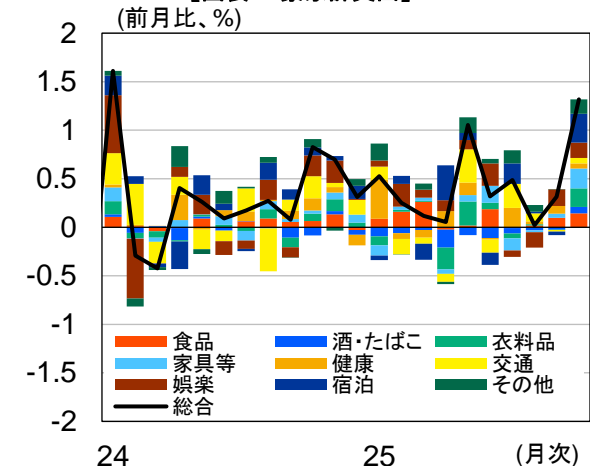
12月4日公表の10月家計支出は、前月比1.3%と市場予想(同0.6%)を大幅に上回り、前月からは伸びが加速した(図表8)。内訳をみると、全項目が前月から上昇しているが、特に宿泊など非裁量支出の項目の上昇が目立つ。8・9月の低調な結果の反動も一部考えられるほか、主要都市における大規模イベントの開催が宿泊などサービス項目の需要を押し上げたことも背景にあるとみられる。

【図表7: 豪CPI】



出所: Bloomberg

【図表8: 豪家計支出】

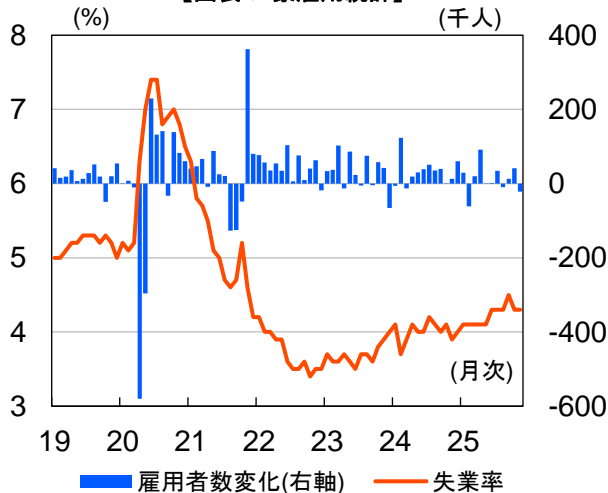


出所: Australian Bureau of Statistics

雇用: 失業率は横ばいも雇用者変化は弱い内容

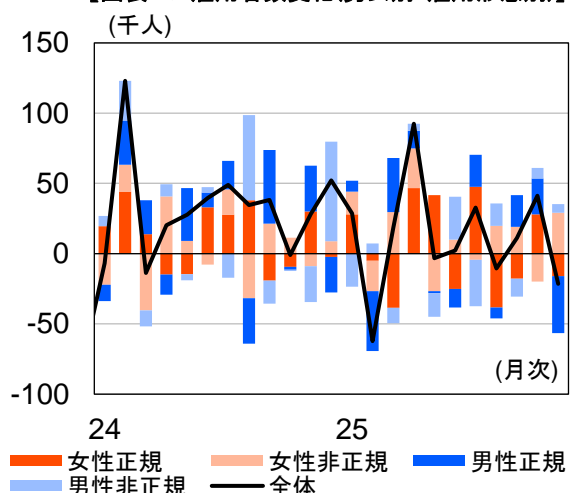
12月11日に公表された11月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が▲21.3千人(市場予想: +20千人)、失業率が4.3%(市場予想: 4.4%)と、雇用者数の伸びは市場予想を大幅に下回った一方、失業率は前月から横ばいだった(図表9)。内訳をみると、男性、女性ともに正規労働者が減少しており、弱い内容といえよう(図表10)。雇用指標は今年春以降、強弱が交錯しながらも全体としては弱めの推移が目立ってきており、おしなべてみれば徐々に労働市場が軟化しつつあるという見方に現在のところは変わりないとみている。

【図表9: 豪雇用統計】



出所: Bloomberg

【図表10: 雇用者数変化(男女別・雇用形態別)】



出所: Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
257	2025/8/28	半導体, 日本株, 米国株	エヌビディアの決算 FY2026 2Q
258	2025/8/28	日本株	日本株需給(8月18日～8月22日)
259	2025/8/28	日本株	4-6 月期決算と年末までの見通し
260	2025/9/3	日本株	25 年 8 月ユーロ圏物価動向
261	2025/9/3	米国株, 米国経済	8 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
262	2025/9/5	日本株	日本株需給(8月25日～8月29日)
263	2025/9/8	米国経済	8 月雇用統計
264	2025/9/10	日本株	自民党総裁選と日本株見通し
265	2025/9/12	日本株	日本株需給(9月1日～9月5日)
266	2025/9/12	米国経済	8 月米 CPI
267	2025/9/12	半導体, 日本株, 米国株	9 月半導体市場及びハイテク株動向
268	2025/9/12	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
269	2025/9/18	米国経済, 米金利, 米国株	9 月 FOMC とマーケットへの影響
270	2025/9/18	豪州経済	25 年 9 月豪州概況
271	2025/9/19	日本株	ここもとの日本株上昇相場についての考察～日経平均 4 万 5000 円は妥当か
272	2025/9/22	日本株	日本株需給(9月8日～9月12日)
273	2025/9/29	日本株	日本株需給(9月16日～9月19日)
274	2025/9/30	コモディティ	25 年 8・9 月 WTI 原油先物価格
275	2025/10/1	日本株	日本株 9 月レビューと 10 月見通し
276	2025/10/2	欧州経済	25 年 9 月ユーロ圏物価動向
277	2025/10/2	米国株, 米国経済	9 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
278	2025/10/3	日本株	日本株需給(9月22日～9月26日)
279	2025/10/6	日本株, ドル円	高市氏勝利とマーケットへの影響
280	2025/10/10	半導体, 日本株, 米国株	10 月半導体市場及びハイテク株動向
281	2025/10/10	日本株	日本株需給(9月29日～10月3日)
282	2025/10/16	豪州経済	25 年 10 月豪州概況
283	2025/10/20	日本株	日本株需給(10月6日～10月10日)
284	2025/10/24	日本株	日本株需給(10月14日～10月17日)
285	2025/10/30	米国経済	10 月 FOMC とマーケット環境の整理
286	2025/10/31	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
287	2025/10/31	日本株	日本株需給(10月20日～10月24日)
288	2025/10/31	欧州経済	25 年第 3 四半期ユーロ圏 GDP 統計
289	2025/11/4	欧州経済	25 年 10 月ユーロ圏物価動向
290	2025/11/4	日本株	日本株 10 月レビューと 11 月見通し
291	2025/11/5	米国株, 米国経済	11 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
292	2025/11/11	日本株	日本株需給(10月27日～10月31日)
293	2025/11/14	日本株	日本株需給(11月4日～11月7日)
294	2025/11/14	半導体, 日本株, 米国株	11 月半導体市場及びハイテク株動向
295	2025/11/14	豪州経済	11 月豪州概況
296	2025/11/20	半導体, 日本株, 米国株	エヌビディアの決算 FY2026 3Q
297	2025/11/21	米国経済	9 月米雇用統計
298	2025/11/21	日本株	日本株需給(11月10日～11月14日)
299	2025/11/25	欧州経済	25 年第 3 四半期ユーロ圏賃金動向
300	2025/11/26	米国経済	米国消費関連指標とマーケット見通し
301	2025/11/28	コモディティ	25 年 10・11 月 WTI 原油先物価格
302	2025/11/28	日本株	7-9 月期決算集計と日本株ストラテジー～日経平均株価は 25 年度に 6 万円に達する可能性もあろう
303	2025/12/1	日本株	日本株需給(11月17日～11月21日)
304	2025/12/1	日本株	日本株 11 月レビューと 12 月見通し
305	2025/12/3	欧州経済	25 年 11 月ユーロ圏物価動向
306	2025/12/5	日本株	日本株需給(11月25日～11月28日)と Weekly データ集

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。